

○ 汚染場所



○ 用語解説

土壌含有量基準

汚染土壌を直接摂取することによる健康影響を考慮して設定

○ 鉛及びその化合物の健康影響について

急性毒性としては、嘔吐、腹痛、下痢、血圧降下、乏尿、昏睡があり、慢性毒性としては、貧血、消化管の障害、神経系の障害等があるといわれています。

体内に取り込まれた場合は血中などに分布したあと、90%以上が骨に沈着します。主に尿に含まれて排せつされますが、体内の濃度が半分になるには約5年かかり、長く体内に残ります。

(出典：環境省水・大気環境局「土壌汚染に関するリスクコミュニケーションガイドライン」)